

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年10月17日発行

2019.10.7～2019.10.13 ー第41週ー

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第38週	第39週	第40週	第41週
水痘		1 0.10	4 0.80				2 1.00	8 0.30	15 0.26	1,129				
流行性耳下腺炎			1 0.20	1 0.50	1 0.33			2 0.07	5 0.09	219				
感染性胃腸炎	3 0.75	29 2.90	1 0.20	5 2.50	8 2.67	31 6.20		89 3.30	166 2.86	11,757	◎	◎	◎	◎
手足口病	26 6.50	13 1.30	15 3.00	7 3.50	19 6.33	17 3.40		44 1.63	141 2.43	9,644	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	16 4.00			4 2.00		2 0.40		4 0.15	26 0.45	2,882	レ		○	○
突発性発しん	2 0.50	4 0.40	4 0.80		2 0.67	1 0.20	1 0.50	13 0.48	27 0.47	1,164	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ			10 2.00		12 4.00	2 0.40		6 0.22	30 0.52	1,419	○	レ	レ	○
インフルエンザ	2 0.29	1 0.07	4 0.50	1 0.33		5 0.63		22 0.50	35 0.37	30,692	◎	◎	○	○
咽頭結膜熱		4 0.40		1 0.50	6 2.00			15 0.56	26 0.45	706			○	○
流行性角結膜炎	2 2.00		6 6.00					1 0.17	9 0.75	156				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37 9.25	15 1.50	1 0.20	1 0.50	4 1.33	34 6.80	2 1.00	60 2.22	154 2.66	7,155	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	4				
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	3				
マイコプラズマ肺炎				4 4.00		1 1.00	4 4.00		9 0.75	170				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	13 3.25	4 0.40	2 0.40	4 2.00	4 1.33	5 1.00		32 1.19	64 1.10	2,207	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	32				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2				8	4					
	川崎病								1					
	不明発しん症								7					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
石巻管内 男性1名
仙台管内 男性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 女性2名
仙台管内 男性1名, 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
仙台管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O121)
仙台管内 男性1名, 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
石巻管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
仙台管内 男性1名(第40週)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症
塩釜管内 女性1名(第40週)
(*Enterobacter cloacae*)
クロイツフェルト・ヤコブ病
塩釜管内 男性1名(第40週)
梅毒
仙台管内 男性1名(第38週), 男性1名
百日咳
気仙沼管内 男性1名(第39週), 女児1名※
仙台管内 女性2名
※ 女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [水痘]
気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
- [手足口病]
仙南, 大崎, 栗原, 登米管内で警報レベルを継続中です。
- [伝染性紅斑]
仙南管内で警報レベルを継続中です。
栗原管内で警報レベルを超えました。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より
大崎管内 第40週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm09 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第38週採取分	第39週採取分	第40週採取分	第38週採取分	第39週採取分	第40週採取分
RSウイルス	7件	5件	0件	(9.16～9.22)	(9.23～9.29)	(9.30～10.6)
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件			
アデノウイルス	0件	2件	1件			
ライノウイルス	0件	3件	0件			
パラインフルエンザウイルス1型	2件	0件	0件			

★RSウイルスが継続して分離されています。

4. 今週のコメント

【感染性胃腸炎】

感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢などを主な症状とする感染症で、ノロウイルスなどのウイルスや腸管病原性細菌が主な原因となります。例年、冬季にはノロウイルスなどによる流行がピークを迎えます。ノロウイルスの感染経路は、ほとんどが手指や食品などを介しての経口感染です。今後の動向に注意し、調理・食事の手洗いなど、日常生活での予防対策を徹底してください。また、症状が見られた際には、早めの受診を心がけるとともに、感染の拡大防止に努めましょう。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

